

平成 29 年度第 1 回加西市総合教育会議 会議録

- 1 開会日時 平成 29 年 5 月 29 日 (月) 15 時 30 分
- 2 閉会日時 同 日 17 時 00 分
- 3 開催場所 加西市役所 1 階 多目的ホール
- 4 出席委員
市長 西村 和平
教育長 高橋 晴彦
教育長職務代理者 渡邊 隆信
委員 内藤 堯雄
委員 多田 久子
委員 沼澤 郁美
- 5 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名
理事 須貝 正俊
ふるさと創造部長 森井 和喜
人口増政策課長 藤後 靖
人口増政策課主任 岩野 裕之
教育部長 達可 忠久
教育委員会次長 中倉 建男
教育委員会次長兼課長 内藤 利樹
教育委員会参事兼課長 本玉 義人
こども未来課長 伊藤 勝
- 6 傍聴者 一般：なし、報道機関：1 名
- 7 協議事項
(1) (仮称) 泉こども園について
(2) 幼稚園教育要領、小・中学校学習指導要領等の改訂のポイントと加西市における今後の取組の方向性について
(3) その他
- 8 会議内容
別紙のとおり

【別紙】

1 開会

2 市長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 協議事項

(1) (仮称) 泉こども園について

事務局より説明

〔意見・質疑〕

市長 泉中学校区内の公立園における統廃合について、加西市としては選択できる方法の中で一番良い方法であると考えて進めているが、すべての方々が賛成というわけではなく、反対のご意見がある状況の中で進めている。過去、小学校の統廃合について議論されたときにはもっと大きな学校で子どもを育てたいという保護者の声が多かった。幼児教育についても適正な規模での運営が望ましいと考えており、保護者にもその考えがあると思う。今の状態のままにしておくことは先延ばしでしかないと考えており、現在の状況と本来あるべき環境との良い点・悪い点を鑑み、進めていきたい。教育委員さんにもご意見を伺いたい。

委員 質の高い保育・教育を目指すということはよく理解できる。地域の方々にとのようになれば十分理解してもらえるか考えなければならないと思う。相手の考えを理解しながら丁寧な説明や話し合いをしてもらいたい。100点満点にはなかなかいかないと思うが可能な限り理解してもらえるよう努力をしてほしい。

委員 様々な意見があると思うが、地域の方々や保護者の方々と考えを共有し、ベストな妥協点を見つけることが理想であると思う。園をまとめず地域で育てたいという考え方も理解できるが、子どもの数や施設の耐用年数を考えると、統合していくという方向性もこれから進む少子化のうえでは必要ではないかと思う。少人数で学ぶ良い点もあるが、ある程度の規模で子どもがお互い切磋琢磨して学ぶことも非常に重要である。地域の方々と十分理解し合えるような話し合いをしていただきたい。

委員 協議会の答申には地域の方々の様々な意見があるが、それぞれの問題点を解消できればと思う。「統合することによる大規模化への不安」や「通園距離の問題」などいわゆるハード面に関しては予定される施設の教員数や早朝と夕方の保育時間の延長をもって、ある程度解消されると思う。逆に「子どもたちの育ちを保障

する教育・保育の環境づくり」といったソフト面についてしっかりと進めていくことができればより理解していただけるのではないかと考える。

委員 少人数の園の考えも大事にしながら進めていただきたい。少人数の園の良さもたくさんあり、保護者も交流もしやすかったと思うが、子どもが多人数で過ごすことによる素晴らしい経験があると思う。また、加西こども園では先生の数も多くなり研修なども行っている。先生の数が増えていくことで子どもにも手厚い指導ができ、質も向上すると思う。話し合いを深めてみんなが喜んで解決できればと思う。

教育長 現在、待機児童が6人いるが、公立は北条西こども園、私立は2園開設予定である。泉中学校区内の公立園も統合すれば全ての児童を受け入れることができ、待機児童がゼロになる。これは大きくアピールできることである。また、保育教諭としても多人数の教諭の中で指導を行ったほうが切磋琢磨し勉強できると思う。

市長 今後、保護者や地域の方々にご理解していただくために、再度、説明会を開き、今まで出された疑問に対する方向性をしっかり説明させていただき、解決できるよう努力する。

- (2) 幼稚園教育要領、小・中学校学習指導要領等の改訂のポイントと加西市における今後の取組の方向性について
事務局より説明

[意見・質疑]

教育長 指導要領が改訂され、現在は実施に向けての移行期にある。様々な変化があり、指導者の確保など負担が増えることが予想されるので市を挙げての支援をお願いしたい。

委員 小学校の外国語活動に関して、ALTが実際に英語で授業を行い児童によくわかるという方向に進んでおり、期待している。また、今後は更に教員も一緒に英語を話す雰囲気づくりに努めてほしい。あとは時間数をどう確保していくかというところにきている。

委員 小学校の外国語活動が増えていくことについて、外部の人材を活用できれば良いが、実施までに時間があるので現在の小学校教員が外国語をうまく指導できるよう研修などが必要であると思う。

- (3) その他
特になし